

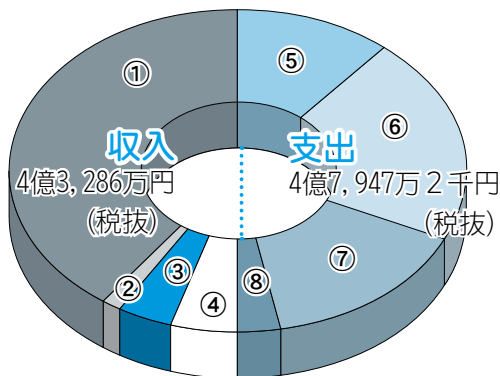
平成 28 年度町の水道事業の業務状況をお知らせします

水道事業は、下の 2 種類の会計で運営しています。収益的収支では支出が収入を上回り、損失が発生しました。資本的収支でも支出が収入を上回りましたが、差額は減価償却費などにより補てんしました。

配水量（浄水場から送り出した水量）と有収水量（検針結果の集計）を比較する有収率は、前年度の 93% から 92.28% に低下しました。水道管の漏水が考えられますので、調査と修理を行い、貴重な資源である水が無駄にならないよう努めます。

収益的収支

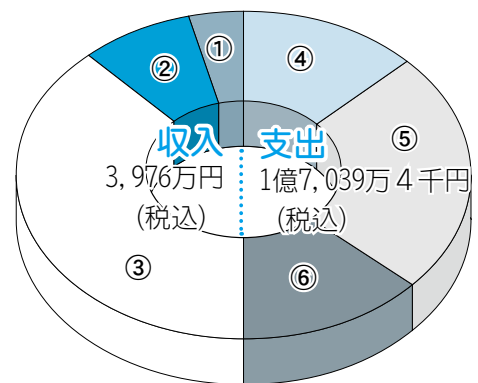
水をお届けするために、浄水場の運転や配水管の修繕などに使う予算



- | | |
|------------------------|-------------------------|
| ① 給水収益
3億8,235万4千円 | ⑤ 維持管理費
1億681万7千円 |
| ② その他の収益
1,246万8千円 | ⑥ 泉水等受水費
1億8,015万8千円 |
| ③ 長期前受金戻入
3,803万8千円 | ⑦ 減価償却費
1億6,554万4千円 |
| ④ 当年度純損失
4,661万2千円 | ⑧ その他
2,695万3千円 |

資本的収支

浄水場設備や配水管など、水道施設の新設や更新に使う予算



- | | |
|----------------------|------------------------|
| ① 加入金・負担金
1,286万円 | ④ 配水管工事など
4,378万6千円 |
| ② 企業債借入
2,690万円 | ⑤ 浄水場施設工事
8,133万8千円 |
| ③ 補てん
1億3,063万4千円 | ⑥ 企業債償還金など
4,527万円 |
- (財源：消費税および地方消費税資本的収支調整額および過年度分損益勘定留保資金)

■ 水道事業の状況 (平成29年 3月31日現在)

給水人口	20,645人
給水件数	7,994件
年間総配水量	2,973,582m ³
1日平均配水量	8,147m ³
1日最大配水量	9,168m ³
年間有収水量	2,744,034m ³
有収率	92.28%

問合せ 上下水道課 上水道グループ
☎297-1818

【用語の解説】

● 減価償却費

施設の使用による資産価値の減少分を、耐用年数に基づく割合で毎年度の収益的支出に計上します。

● 長期前受金戻入

過去に施設を取得したとき財源となった国庫補助金や負担金などを、減価償却の割合に基づき収益的収入に計上するもので、実際に現金が入るものではありません。

● 消費税および地方消費税資本的収支調整額

資本的収支で、収入と一緒にお預かりした消費税より、支出で相手先に支払った消費税が多いときの差額をいいます。

● 損益勘定留保資金

減価償却費など、支出に計上しますが外部へ支払わないものをいいます。施設の新設や更新に使った費用を補います。